

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	397	青山文化センター隣保館事業	会計	01	一般会計
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	款	03	民生費
			項	03	同和行政費
			目	02	隣保館費
担当部課名	青山文化センター		細目	101	隣保館管理経費
作成者氏名	奥永悦子	連絡先	細々目	06	青山文化センター隣保館管理経費
		55-2411			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	隣保館活動を行う団体やサークル	部落問題の解消に向けた学習をするために必要な場を提供することにより、地域の交流が深まり、連携して差別の解消に向けた取り組みをする。
本年度事業内容	施設設備の維持管理を行う。	
運営主体	直営 指定管理 民間委託等 (委託先: )	根拠法令・要綱等 伊賀市隣保館設置条例
市内の類似施設	八幡町、久米町、木興町市民間 下郡市民館 寺田市民館 前川隣保館 奥馬野隣保館	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
支出内訳 (千円)	事業費(B)	6,471	7,686	7,686
	報酬	1,866	2,036	2,036
	賃金	1,299	1,436	1,436
	需用費	1,448	1,031	1,031
	その他	1,858	3,183	3,183
合計(A+B)		10,071	11,286	11,286
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金	9,494	7,686	7,686
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	577	3,600	3,600
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用者延べ人数	人	2007	2107	2167			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用者延べ人数	利用満足度を指標とすべきであるが、把握が困難なため本指標を採用	人	2007 目標 ( )	2107	2167
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>老川隣保館は、部落問題をはじめとするあらゆる差別を解消するため、地域の住民の交流の拠点として人権・同和問題に対する理解を深めるための活動を行っている。 開館して24年が経過し、バリアフリー化の改修を実施したが、吹き抜けになった階段の柵の間隔が大きく、幼児や児童の転落防止対策が必要である。</p>
---

評価	必要性	4	老川隣保館は、部落問題をはじめとするあらゆる差別を解消するための学習啓発の場として、また、地域の住民の交流の拠点として有効な施設であり、充実した事業を実施していく。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		